

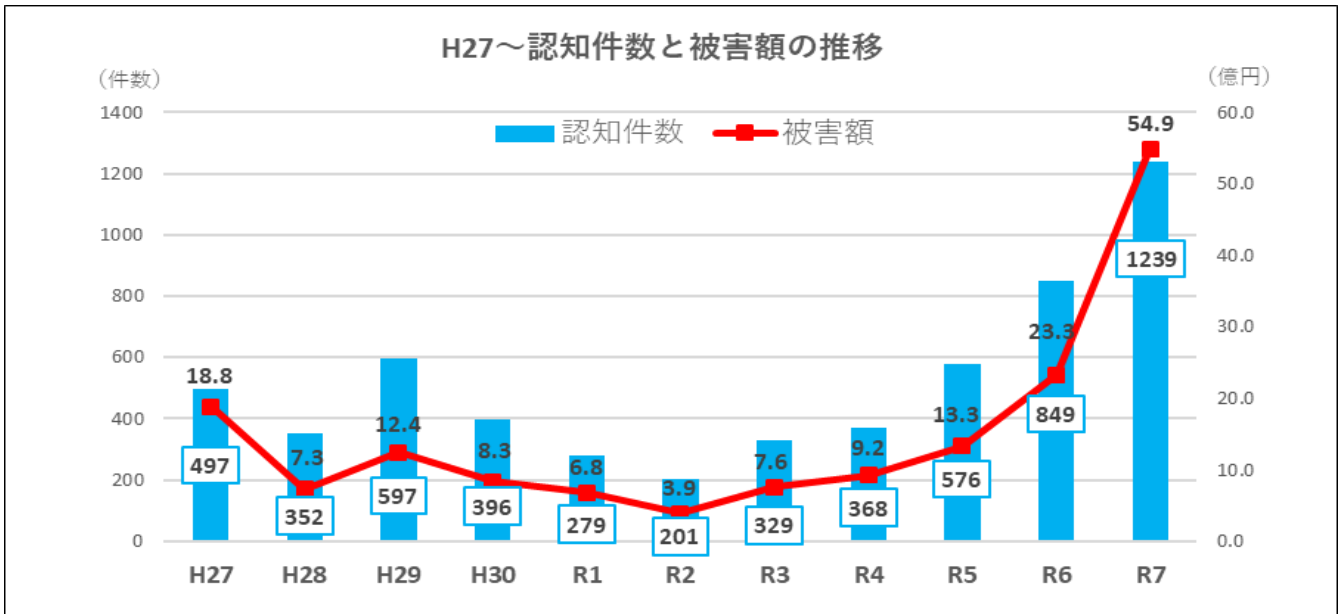
【ポイント】

- ニセ電話詐欺の認知件数・被害額ともに平成16年に統計開始以降、過去最多を記録
- 警察官をかたったオレオレ詐欺の認知件数・被害額が急増
- 犯行に使用された電話番号のうち、約6割が国際電話
- 検挙件数は過去最多を記録

1 認知状況・被害額 ※ ()内は、前年比、千円以下は四捨五入

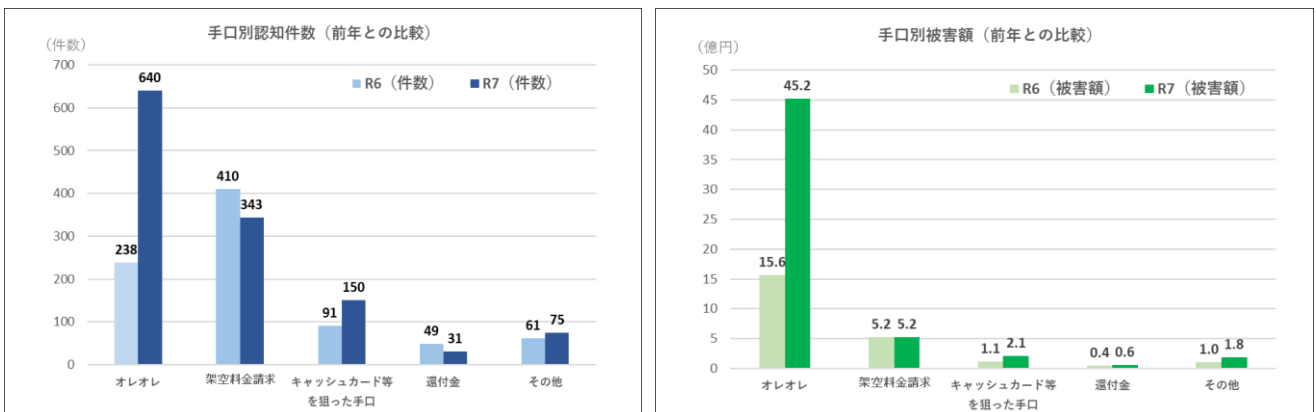
- ・ 認知件数 1,239件(+390件、約46%増加)
- ・ 被害額 54億8,972万円(+31億5,820万円、約135%増加)

2 平成27年以降の被害の推移



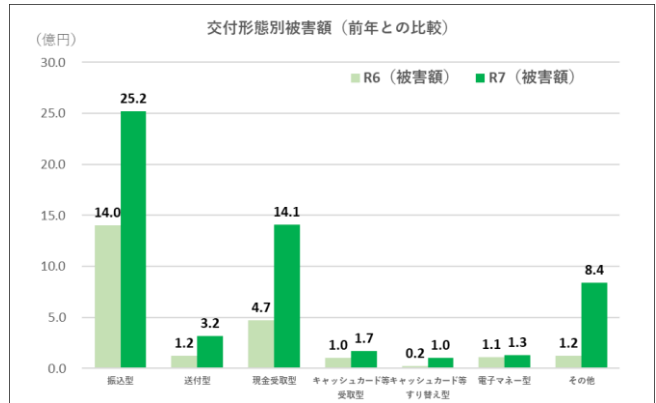
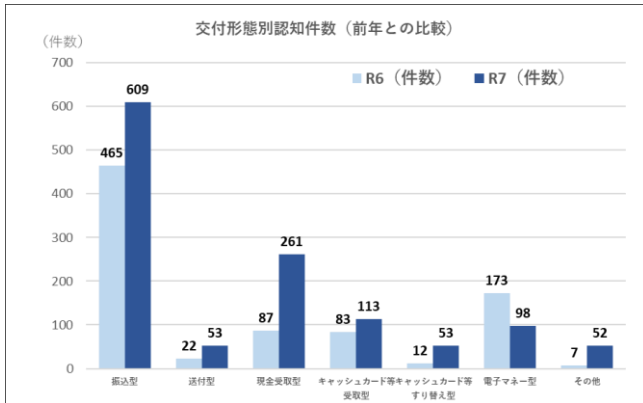
- ・ 認知件数・被害額ともに令和3年以降増加傾向が続き、統計史上最多を記録

3 手口毎の発生状況 ※ キャッシュカードを狙った手口=(預貯金詐欺+キャッシュカード詐欺盗)



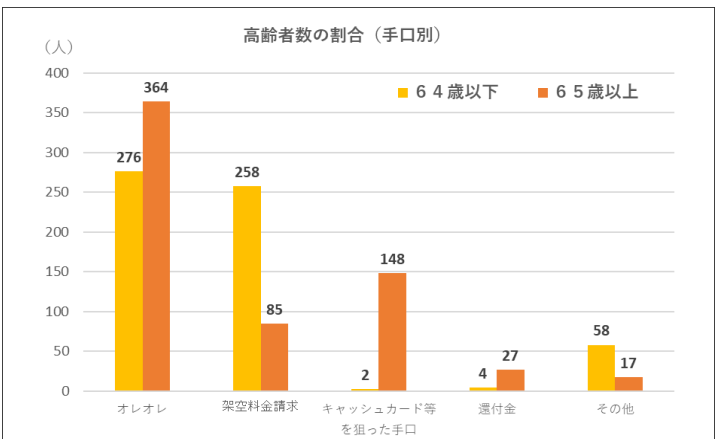
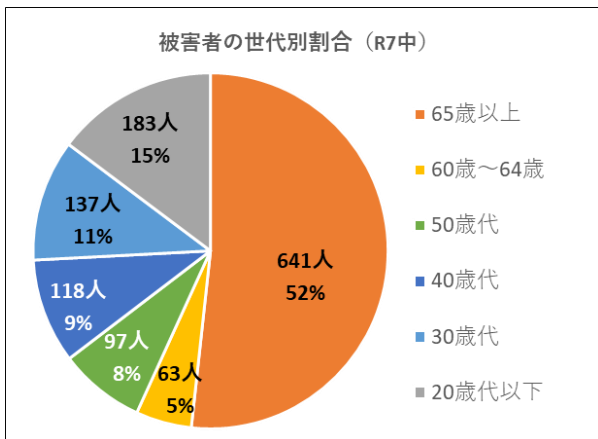
- ・ オレオレ詐欺の認知件数・被害額が大幅に増加(認知件数全体の約52%、被害額全体の約82%)
- ・ 架空料金請求詐欺の認知件数は減少するも、被害額は横ばい
- ・ キャッシュカードを狙った手口は、認知件数は増加し、被害額は微増

4 交付形態別の発生状況



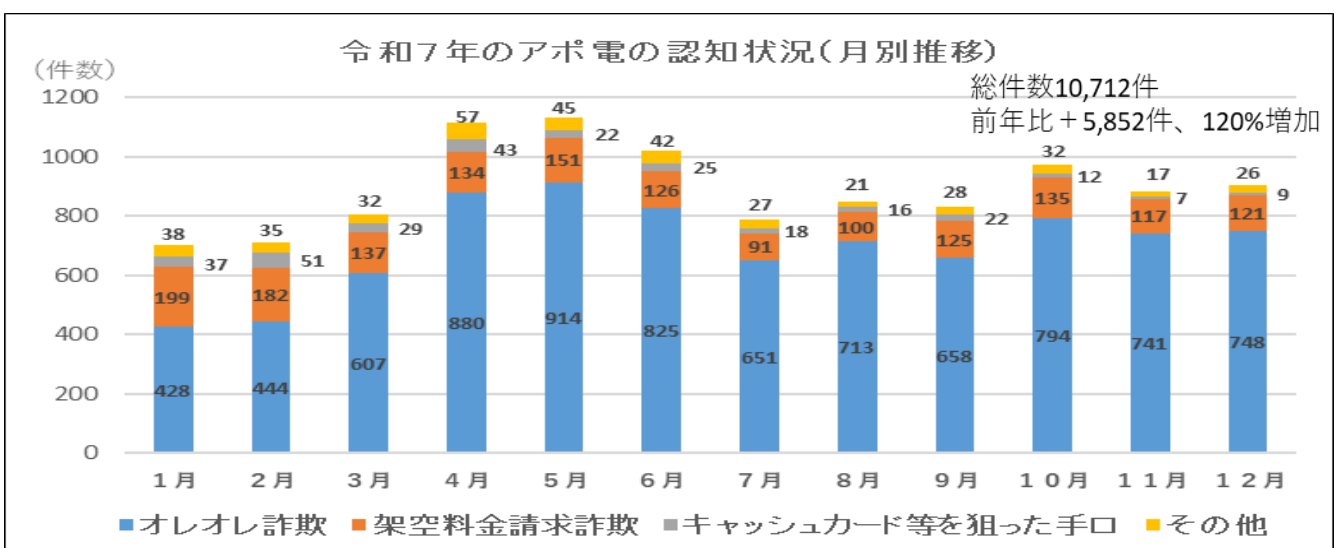
- ・ 振込型の被害が認知件数、被害額ともに全体の5割を占めるなど、交付形態別で最も多く、大幅に増加
- ・ 現金受取型の被害が認知件数、被害額ともに大幅に増加

5 被害者の年齢層



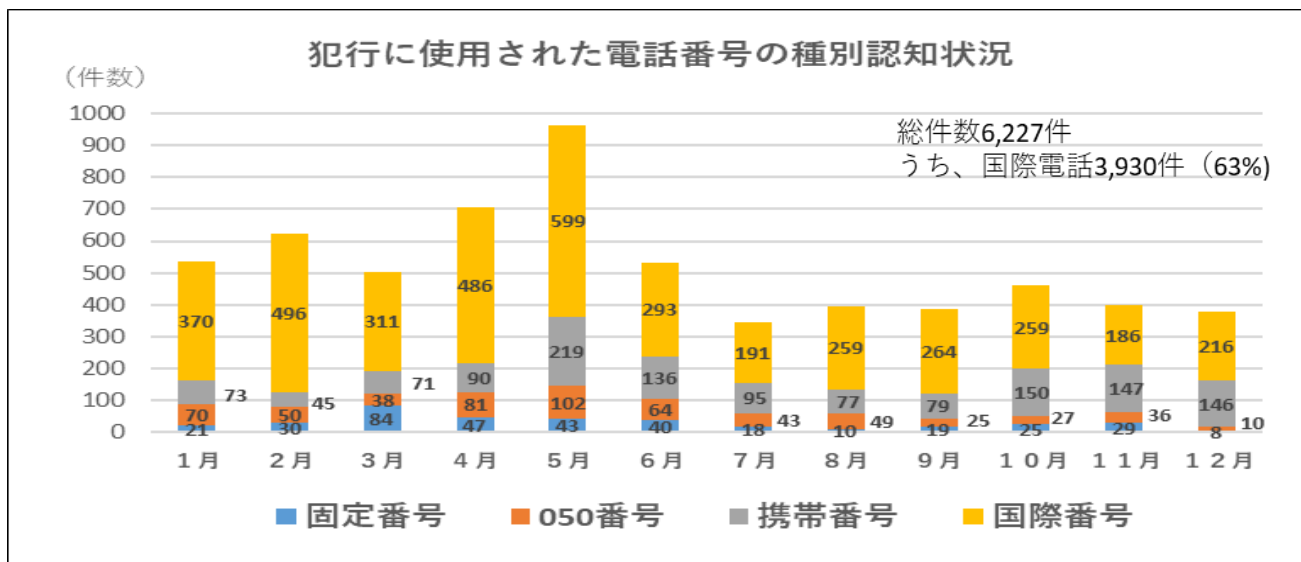
- ・ 被害者のうち、約半数が65歳以上の高齢者
- ・ オレオレ詐欺に関し、親族かたりの手口は、被害者の9割以上が65歳以上である一方、警察官かたりの手口は、幅広い年齢層に被害が及んでいる。
- ・ キャッシュカードを狙った手口の被害者は、65歳以上の高齢者が9割以上

6 アポ電(予兆電話)の認知状況



- ・ オレオレ詐欺のアポ電が総件数の約8割を占めている。

7 犯行に使用された電話番号の認知状況



- ・ 国際電話が利用されたものが約6割を占めている。

8 主な手口例～警察官かたりのオレオレ詐欺

① アボ電

自宅の固定電話や携帯電話に通信事業者や公的機関等をかたる者から電話があった後、すぐに他県の警察官をかたる者に電話が代わり、被害者が事件の容疑者として浮上しているなどと、不安を煽るようなことを言われる。

【具体的なだまし文句の例】

「警視庁の〇〇署です。」 ※訪問することが困難な遠方地の警察を名乗る。

「●●という者を逮捕してマネーロンダリングの捜査をしているが、あなたの名義が悪用されている。」

「あなたにも共犯の容疑がかかっており、このままではあなたを逮捕しなければならなくなる。」

「あなたの無実を証明するため、あなたの預貯金口座を調査する必要がある。」

※ 犯人側は、「+1」や「+44」などから始まる国際電話番号を使用して電話を架けてくる。

② LINEへの誘導

その後、警察官をかたる者と、取調べと称してLINEのメッセージ機能やビデオ通話機能を通じてやり取りをするようになり、ビデオ通話で警察の制服姿をした者から警察手帳や逮捕状などを呈示されるなどして、本物の警察官と信じてしまう。

【具体的なだまし文句の例】

「〇〇署まで出頭していただきたいが、出頭できないのであればLINEで事情を聞くことができる。」

③ 金銭の振込等

②の警察官をかたる者から、被害者が保有する預貯金口座の数や預貯金額等を聞かれた後、資産の調査名目に、指定の口座に対する振込や暗号資産への転化と送金、指定の住所に対する現金送付等を指示され、金銭をだまし取られてしまう。

【具体的なだまし文句の例】

「あなたの身の潔白を証明するには、資産や預貯金を調査する必要がある。」

「確認のため、指定の口座に預貯金を振り込むように。」

※ 他に、自宅のポストや駐輪場の自転車のカゴの中等、指定の場所に現金や購入を指示された金地金を置くよう指示され、何者かに持ちさらされるケースも認められるなど、犯人グループはその時の状況に応じて様々な方法で金銭をだまし取ろうとする。

また、預貯金以外にも、証券や保険の解約を迫られ、現金をだまし取られる場合もある。

9 阻止状況

- タクシー運転手による阻止（架空料金請求詐欺） ※阻止額30万円

阻止者は、被害者（88歳、男性）を銀行まで送り届け、ATMで現金を引き出す間、銀行駐車場で待機していたところ、戻ってこないことに不審を抱き、銀行内を確認したところ、被害者が通話しながら周囲を見渡し、ATMを操作している状況を認めた。疑問を抱いて被害者に近づくと「周りには誰もいません。」などと申し立てる状況から、詐欺被害を心配し、被害者に声掛けし、事情を聴くと、「30万円を振り込むように言われた。」旨申し立てたため、詐欺被害を確信し、タクシーで警察署へ送り届けた。

被害者は、「携帯電話の未払い料金がある。」旨の連絡を受け、振込手続を行うところであった。

- 貴金属店による阻止（オレオレ詐欺〈家族騙り〉） ※阻止額800万円

被害者（85歳、女性）が携帯電話で通話しながら来店し、「金を買いたい。」と申し立てた状況に不審を感じた。

店員が電話を替わると、通話の相手は被害者の息子と名乗り、被害者の人定事項は答えたものの、息子本人の生年月日が相違し、声も年齢よりも若く感じたことから息子を騙る詐欺であると看破し、電話を切断した上で警察へ通報したものの。

被害者は、息子を騙る男から金の購入を促され、500グラム（800万円相当）を購入しようとしたものの。

10 検挙状況

- (1) 総検挙件数 ※（ ）内は、前年比

258件(+165件)

- (2) 主な検挙事例

- ① 南警察署・組織犯罪対策課・暴力団犯罪捜査課・北九州地区暴力団犯罪捜査課・薬物銃器対策課・国際捜査課・組織犯罪捜査課(キャッシュカード詐欺盗等)

フィリピン共和国拠点の犯罪組織「JPDドラゴン」のメンバー8名(指示役、架け子、リクルーター)をキャッシュカード詐欺盗事件等で通常逮捕した。

- ② 春日警察署・南警察署・久留米警察署・少年課・暴力団犯罪捜査課・組織犯罪対策課・組織犯罪捜査課(オレオレ詐欺)

令和7年1月に発生した親族かたりのオレオレ詐欺事件に関し、指定暴力団道仁会組員らを詐欺罪で通常逮捕した。

- ③ 博多警察署・中央警察署・春日警察署・組織犯罪捜査課(オレオレ詐欺)

警察官かたりのオレオレ詐欺事件に関し、カンボジア王国拠点の特殊詐欺グループの架け子5名を詐欺罪で通常逮捕し、架け子の渡航斡旋役3名を職業安定法違反で通常逮捕した。